

## 《情報公開文書》

### 総合周産期母子医療センターにおける妊娠 32 週未満単胎早産のリスク因子探索

#### 研究の概要

##### 【背景】

当院は 2019 年に NICU・GCU を拡充し、より多くの新生児を受け入れができる体制を整え、同年に MFICU の開設と総合周産期母子医療センターの指定を受け、ハイリスク妊婦を受け入れることが可能となりました。助産師は早産となる危険性が高いと考えられる切迫早産の妊婦に対するケアや早産の予防について保健指導を行っておりますが、ケアや保健指導を行う中で、早産のリスク因子を把握する必要があると考えました。妊娠 22 週以降妊娠 32 週未満の単胎早産と妊娠 32 週以降妊娠 37 週未満の単胎早産のリスク因子の違いを明らかにし、妊娠 32 週未満の単胎早産のリスク因子を把握することで、助産師のケアや保健指導の向上につなげることができると考えます。

##### 【目的】

診療録から収集した情報をもとに後方視的に妊娠 22 週以降妊娠 32 週未満の単胎早産と妊娠 32 週以降妊娠 37 週未満の単胎早産のリスク因子の違いを明らかにすることです。

##### 【意義】

この研究により、妊娠 32 週未満の単胎早産のリスク因子を把握し、助産師のケアや保健指導の向上につなげることができると考えます。

##### (方法)

診療録から情報を収集し、後方視的に解析します。妊娠 22 週以降妊娠 32 週未満に単胎分娩した産婦を前期早産群、妊娠 32 週以降妊娠 37 週未満に単胎分娩した産婦を後期早産群として、前期早産群と後期早産群でリスク因子の比較検討を行います。

#### 対象となる患者さん

2020 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日に長崎大学病院にて早産（妊娠 22 週以降妊娠 37 週未満）、単胎分娩した産婦とその児

#### 研究に用いる情報

##### ● 研究に用いる情報

本研究は診療録より下記の情報を収集します。

分娩時年齢、身長、非妊娠時体重、非妊娠時 BMI、就労の有無、不妊治療の有

無、分娩歴（経妊、経産、流産、中絶）、妊娠中期の頸管長、分娩週数、胎盤早期剥離の有無、分娩様式（経膈分娩、吸引分娩、選択的帝王切開術、緊急帝王切開術）、分娩日時、分娩時出血量、性別、出生体重、アプガースコア 1 分値、アプガースコア 5 分値、臍帯血動脈 pH、妊娠中の異常の有無、分娩時の異常の有無、合併症の有無、胎児異常の有無、早産の妊娠帰結の理由

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

#### 情報の利用開始予定日

本研究は 2024 年 3 月 26 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

#### 研究実施期間

研究機関長の許可日～2025 年 3 月 31 日

#### 研究実施体制

研究責任者	所属：長崎大学病院 MFICU 氏名：高比良 純子 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7388
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長

#### お問い合わせ先

研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】  
長崎大学病院 MFICU 高比良純子  
〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号  
電話：095（819）7388 FAX 095（819）7884

#### 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200  
受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）